



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区協会の活動紹介

(菊川・富士・浜松東・浜松中央)

「交通死亡事故現場診断」を実施！（31年2月中）

菊川、富士、浜松東、浜松中央地区安全運転管理協会は、それぞれの地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この2月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの対策等を協議しました。

【菊川地区】

2月4日(月)、菊川警察署、菊川市役所、道路管理者等とともに、同地区安全運転管理協会役員や推進事業所「東海清風園」安全運転管理者等約30人により
11月23日(金)菊川市土橋地先の主要地方道で発生した交通死亡事故
(普通乗用車と横断歩行者との衝突事故、歩行者の88歳男性が死亡)
の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、ややカーブした道路で大型車両の通行が多く、現場診断の後に開催した交通事故防止対策検討会において

- カーブ地点など、ハイビームを励行して歩行者の早期発見が重要
- 歩行者、特に高齢者に対する交通安全指導や広報啓発が必要

など交通死亡事故の再発防止対策に関する意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【現場診断のようす】



【交通事故防止検討会】

【富士地区】

2月8日(金)、富士警察署の呼掛けで、富士市役所、交通安全協会、土木事務所、老人クラブ等関係機関・団体及び富士地区安全運転管理協会から役員や現場周辺事業所の安全運転管理者ら合計18人が参加して、

1月25日(金)富士市松岡地先の県道富士由比線で発生した交通死亡事故
(軽四乗用車と横断歩行者の衝突事故、横断歩行者の48歳男性が死亡)
に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、見通しの良い直線道路であるが、事故現場診断の参加者から

- 街路灯の整備、ガードレールの設置、交差点をカラー舗装で識別
- 周辺住民に対する交通安全広報、啓発活動を実施

など、ハード、ソフト両面の事故防止対策について活発な意見が出されました。

【事故現場診断】



【再発防止対策を協議】

【浜松東地区】

2月27日(水)、浜松東警察署の呼掛けで、浜松東区役所、交通安全協会浜松東地区支部、道路管理者、地元自治会役員のほか、浜松東地区安全運転管理協会から会長らが参加し、合計約40人により

2月19日(火)浜松市東区中里町地先の市道交差点で発生した交通死亡事故(原付バイクと軽四乗用車との衝突事故、原付バイクの54歳男性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、信号機の設置されていない交差点で、直進する原付バイクと右折しようとした軽四乗用車が衝突しており、事故現場診断の参加者から

- 交差点が明確に分かるよう道路標示や案内看板を設置
- 現場周辺道路の制限速度の見直し、周辺住民への注意喚起

など、事故防止対策について活発な意見が出されました。

参加者は、現場診断で出された意見を持ち帰って、それぞれの関係団体による交通事故防止対策に活用することとしました。



【事故現場診断】

【浜松中央地区】

2月28日(木)、浜松中央警察署の呼掛けで、浜松市西区役所、交通安全協会地区支部、交通安全対策推進委員、地元自治会等関係団体及び浜松中央地区安全運転管理協会役員及び推進事業所安全運転管理者など合計40人が参加し

2月22日(金)浜松市西区和地町地先主要地方道で発生した交通死亡事故(普通乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の28歳男性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、歩行者が多い生活道路で、事故現場診断の参加者から

- 歩行者、特に夜間の歩行には反射材を着けるよう広報啓発する
- 縁石にロードフラッシュを設置して、自動車運転者に注意喚起する

など、事故防止対策について活発な意見が出されました。

また参加者は現場診断後、付近の大型店舗前において自発光式反射材や交通安全チラシを配布して、広報啓発活動を実施しました。

【事故現場診断】



【再発防止対策を協議】



【交通安全広報啓発活動】